

単体サーバのアップグレード手順（2020.1 -> 2022.1: Windows環境編）

説明

Windows環境における、単体P4Dサーバでのアップグレード手順(2020.1 -> 2022.1)は以下の通りです。

手順

1. チェックポイントの取得

アップグレード作業前に、問題が発生した場合に復旧できるよう、チェックポイント作成を実施します。

実行コマンド例：チェックポイント作成

```
> p4 -p server:port -u super admin checkpoint
```

※ server:port : 対象のP4Dサーバを指定

※ super : スーパ権限ユーザを指定

2. "p4d.exe"と"p4s.exe"の配置先確認

WindowsサーバのP4Dサーバアップグレード作業は、ファイル置き換えです。

置き換え対象のファイルは、"p4d.exe"と"p4s.exe"の2つです。

対象の2ファイルの、現時点での配置先を確認します。

実行コマンド例：配置先確認

```
> where p4d.exe
C:\Program Files\Perforce\Server\p4d.exe
```

```
> where p4s.exe
C:\Program Files\Perforce\Server\p4s.exe
```

※ この場合、"C:\Program Files\Perforce\Server"配下にある"p4d.exe"と"p4s.exe"が置き換え対象です。

3. P4Dサーバの停止

管理者権限でコマンドプロンプトを起動し、以下のコマンドからPerforceサービスを停止します。

実行コマンド例：サービス停止

```
> sc stop Perforce
```

"p4 info"コマンドを実行し、P4Dサーバへアクセスできないことを確認します。

確認コマンド例

```
> p4 -p server:port -Ztag info
```

※ server:port : 対象のP4Dサーバを指定

4. ファイルのダウンロード

以下のリンクよりファイルをダウンロードし、任意フォルダに一時的に配置します。

ファイルのダウンロード

- [p4d.exe](#)
- [p4s.exe](#)
- [p4.exe](#)

一時配置先例：この手順では、"c:\tmp"上に"new"フォルダを作成し、配置しています。

C:\tmp\new\p4d.exe

C:\tmp\new\p4s.exe

C:\tmp\new\p4.exe

5. 旧バージョンの"p4d.exe"、"p4s.exe"を移動

新バージョンのプログラムと置き換えるため、旧バージョンのファイルを移動します。
この手順では、"c:\tmp"上に"backup"フォルダを作成し、移動させます。

フォルダ作成コマンド例

> md C:\tmp\backup

移動コマンド例

> move "C:\Program Files\Perforce\Server\p4d.exe" c:\tmp\backup

> move "C:\Program Files\Perforce\Server\p4s.exe" c:\tmp\backup

期待するコマンド結果

1 個のファイルを移動しました。

6. 新バージョンの"p4d.exe"、"p4s.exe"を配置

新バージョンのプログラムを配置します。

移動コマンド例

> move "C:\tmp\new\p4d.exe" "C:\Program Files\Perforce\Server"

> move "C:\tmp\new\p4s.exe" "C:\Program Files\Perforce\Server"

期待するコマンド結果

1 個のファイルを移動しました。

7. p4dコマンドからバージョンを確認

置き換えたプログラムにより、p4dバージョンがアップグレードしていることを確認します。

p4dバージョン確認コマンド例

> p4d -V

期待する結果

...
Rev. P4D/NTX64/2022.1/2305383 (2022/06/28).
License: none

p4sバージョン確認コマンド例

> p4s -V

期待する結果

...
Rev. P4D/NTX64/2022.1/2305383 (2022/06/28).
License: none

8. データベーススキーマの更新

アップグレードによりデータスキーマの更新が必要となります。
以下のコマンドを実行し、データベーススキーマを更新します。

データベーススキーマ更新コマンド例

```
> p4d -r "C:\Program Files\Perforce\Server" -xu
```

期待する結果

Upgrades will be applied at server startup.

9. P4Dサーバの起動

管理者権限でコマンドプロンプトを起動し、以下のコマンドからPerforceサービスを起動します。

サービス起動コマンド例

```
> sc start Perforce
```

"p4 info"コマンドを実行し、P4Dサーバへアクセスできることを確認します。

確認コマンド例

```
> p4 -p server:port -Ztag info
```

※ **server:port** : 対象のP4Dサーバ

期待する結果

Server version: P4D/NTX64/2022.1/2305383 (2022/06/28)

10. P4コマンドのアップグレード

P4Dサーバのアップグレードが完了した後、サーバマシン上のP4コマンドをアップグレードします。
Windows環境の場合、P4コマンドのアップグレードもファイルの置き換えとなります。

① 旧バージョンのP4コマンドを任意のフォルダへ移動します。

移動コマンド例

```
> move "C:\Program Files\Perforce\p4.exe" c:\tmp\backup
```

期待するコマンド結果

1 個のファイルを移動しました。

② 新バージョンのP4コマンドを旧バージョンが配置されていたフォルダへ配置します。

移動コマンド例

```
> move "C:\tmp\new\p4.exe" "C:\Program Files\Perforce"
```

期待するコマンド結果
1 個のファイルを移動しました。

③ P4バージョンを確認します。

バージョン確認コマンド
> p4 -V

期待するコマンド結果
... Rev. P4/NTX64/2022.1/2305383 (2022/06/28).

アップグレード手順は以上です。